

地域再生計画（污水処理交付金）事後評価調査

都道府県名	岡山県	事業実施主体	津山市	地域再生計画名	「いつか私にもどる水」津山市水環境再生計画
計画期間	平成22年度～平成26年度	評価責任者	津山市 都市建設部 部長 植月 優		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	最終目標値の実現状況に関する評価		
	指標 1	指標 2	基準年度	H21	年度	中間実績	基準年度	最終実績				
	指標 1	污水処理人口普及率を50.1%から56.1%に向上	50.1%	H21	53.1%	H24	52.5%	56.1%	H26	54.4%	△	公共下水道整備や浄化槽設置の効果により、污水処理人口普及率は増加したが想定ほど整備が進まず、目標値を下回っている。
	指標 2	放流河川水質の改善（BODを15mg/Lから10 mg/Lに改善）	15 mg/L	H21	12.5mg/L	H24	12.4mg/L	10 mg/L	H26	11.1mg/L	△	公共下水道整備や浄化槽設置の効果により、水質の改善が見られるが、目標値には至らなかった。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1											
	指標 2											
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
			計画	中間年度（H24）	最終実績							
特別措置を適用して行う事業	公共下水道事業（整備延長、処理場）		28,500m	11,485m	16,053m	測量設計等を優先したため整備延長が進まなかった。今後も引き続き未整備地域の解消に向け、事業を実施する必要がある。						
	個人設置型浄化槽整備事業（整備基数）		1,600基	816基	1,364基	想定より設置希望者が少なかったため整備が進まなかった。合併処理浄化槽の個人設置は、多額の金額を要し景気の動向にも左右される。自治体は受け身にならざるを得ないが、今後も広報誌等を通じて水洗化への啓蒙活動を図る。						
その他の事業	美しい自然の形成に関する事業		年に各一回、市職員、地元町内会、ボランティアによる河川・道路清掃を実施			毎年各一回、河川・道路清掃を実施した。今後も引き続き自然景観の保全と再生に向け、事業実施を行いたい。						
	快適空間の形成に関する事業		本庁舎、小学校3校、総合斎場、学習館に太陽光発電設置、浄水場に小水力発電を設置			国や県の支援を受けながら、太陽光発電等の新エネルギーの導入を順次進めている。環境基本計画等に基づき、公共施設への新エネルギーの導入や省エネルギーの推進を行っており、今後、公共施設の新設及び大規模改修時には、新エネルギーの導入及び省エネルギー機器の導入を行いたいと考えている。						
計画外で独自に実施した事業												
④評価方法	最終実績に基づき客観的に評価											
⑤事後評価の公表方法	津山市下水道課のホームページに掲載											
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、污水処理施設整備交付金を活用した公共下水道整備と個人設置型の浄化槽の設置を一体的に実施し、污水処理人口普及率の増と放流河川の水質改善の効果をおおむね発現できたと考えている。しかし、普及率に関しては依然低迷している状況であるため、さらなる整備促進を図る必要がある。											
⑦今後の方針等	次期地域再生計画においては、市全域で効率的な污水処理施設の整備促進を図るため、現在認可を受けている勝北地域の公共下水道を整備するとともに、認可の拡大について適時に検討を行う。また公共下水道事業認可区域及び農業集落排水整備事業地区以外の区域については、合併処理浄化槽設置整備事業を推進し、污水処理人口普及率を向上させ、安全で潤いのある美しい自然と快適空間が提供できるまちづくりを図る。											